



学校運営協議会・校区民協議会 (7/3)



地域の各団体の方々に
集まっていただき、活発
な意見交換をしました。

今回は、「子どもの安全を守る取組」を中心にした話し合い。学校の説明を受けて各団体の立場からグループで協議しました。

委員の方からは、「親と子が堀と共存していく必要がある」「地域の大人が声を掛け、皆で育てる」などの意見が出されました。

以下は、具体的な改善策です。

- 水深を示す危険看板の設置
- 着衣水泳の映像を視聴する場
- 堀の楽しさと危険性を体験する活動
- 育成会等でのKY（危険予知訓練）
- 一目でわかる危険マップの作成配布
- ペットボトル浮き輪の作成と設置
- 親子での地域活動の推進 など

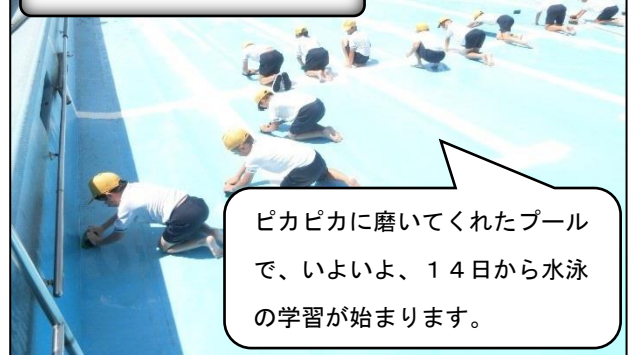
地域では

6月2日の水の事故から1か月が過ぎました。言葉では言い尽くせない悲しい出来事。今は只、お二人のご冥福を祈ると共に、私たちにできることを少しずつ進めていくことだと思っています。

P T Aでは、コロナ対策のため一端中止にしていた地域懇談会を再度実施するための準備を始めています。地域委員さん方は子ども達の水の遊びについての情報提供をしてくださいました。

今こそ、地域・保護者・学校が更なる連携の強化を進める時だと実感しています。

プール掃除；5年生



ピカピカに磨いてくれたプールで、いよいよ、14日から水泳の学習が始まります。

今年度の水泳学習は、安全教育も視野に「浮く・泳ぐ」ことを中心に指導します。その中で、水に落ちた際の身の処し方を体験的に学ぶ「着衣水泳」も例年通り全学年で実施します。

学校・家庭・地域の役割～手を取り合って～

学校では、上記の水泳指導や生活指導など、様々な学習で「自ら危険を予測・回避する能力」を育てていきます。また、その学習の基盤になるものとして、

「他人の意見に傾聴し広い心で受け止める寛容さ」や「思いやりと規範意識」

といった心と態度を重点目標「人間関係づくり」と関連付けながら育てていきます。

地域やP T Aでは、左のように、多くの方々が子ども達の安全を守る取組を始めようとしてあります。

では、家庭では、どのようなことが…？

学校では

家庭では

- お子様の安全を守るための声掛けや親子での約束
- 挨拶や各種取組への参加など、親子で学校や地域とつながる行動 など

子どもを取り巻く我々大人が、同じ方向を向いて一緒に育てていくことが大切なのだと思えます。